

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra



指揮 **フランソワ＝グザヴィエ・ロト**

洗練された音楽作りで国際的に活躍するフランスの名匠

FRANÇOIS-XAVIER ROTH *Conductor*

歓喜、咲き誇る。 時を重ねたロトが読む、いまだ知られぬ響きの花束。

マヌリ：サッカード ～フルートとオーケストラのための

マーラー：交響曲第4番 ト長調 「大いなる喜びへの賛歌」

MANOURY *Saccades pour flûte et orchestre*

MAHLER *Symphony No. 4 in G major*



フルート **エマニュエル・パユ**

世界を魅了する現代最高峰のフルート奏者

EMMANUEL PAHUD *Flute*



ソプラノ **種谷 典子**

輝かしい美声と繊細な表現力を併せ持つ歌姫

NORIKO TANETANI
Soprano

第1コンサートマスター **林 悠介**

First Concertmaster
YUSUKE HAYASHI

読売日本交響楽団 第154回 横浜マチネーシリーズ

2026 11.29<日>14:00

横浜みなとみらいホール

S ¥8,800 A ¥7,700
B ¥6,600 C ¥5,000

YNSO Yokohama Matinée
Series No. 154

Sun. 29 Nov. 2026, 14:00
Yokohama Minato
Mirai Hall

読売日本交響楽団 第663回 定期演奏会

2026 11.30<月>19:00

サントリーホール

S ¥8,800 A ¥7,700
B ¥6,600 C ¥5,000

YNSO Subscription Concert No. 663

Mon. 30 Nov. 2026, 19:00
Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時～18時・年中無休

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ
読売日本交響楽団

助成： 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：横浜みなとみらいホール <11/29公演>

アフラック生命保険株式会社 <11/30公演>

再会は、過去形じゃない。

あれから11年、ロトが読響の^{いま}現在を鳴らす。



指揮

フランソワ＝グザヴィエ・ロト

独自の音楽解釈と洗練された音楽作りで国際的に活躍するフランスの名匠。「レ・シエクル」を創立し、近現代作品をピリオド楽器で演奏するスタイルで注目を浴びた。17世紀から近現代に至る幅広いレパートリーを持ち、2015年から24年まではケルン歌劇場の音楽総監督を、25年から南西ドイツ放送(SWR)響の首席指揮者を務めるなど充実した音楽活動を展開している。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ウィーン響、ロンドン響などと共演し、世界の聴衆を魅了している。読響には15年以來、11年ぶりの登場となる。

©Volger Talinski

フルート エマニュエル・パユ

ベルリン・フィルの首席奏者を務め、ソロでも活躍する世界最高峰のフルート奏者。1989年神戸国際フルートコンクール第1位、92年ジュネーヴ国際音楽コンクール第1位など受賞多数。93年ベルリン・フィルの首席奏者に就任以降、同楽団のソロ・フルーティストとしても活動するほか、ソリストとしてアバド、アントニーニ、パレンボイムらの指揮で世界の名だたる楽団と共演。日本ではリサイタルやN響ら楽団との共演のほか、アンサンブル公演やマスタークラスも行っている。読響とは1997年の初登場以降、多数共演。



©Anoush Abrar

フランソワ＝グザヴィエ・ロトが読響に初めて客演したのは2015年6月だった。その時の衝撃は忘れられない。ベルリオーズの「幻想交響曲」で聴かせた、音楽の流れを重視した自然な息遣いとさりげないフレー징の細部に宿るみずみずしさは、特筆すべきものだった。

古楽オーケストラで鍛えたタクトは、ロマンチックで熱い^{じょうぜつ}饒舌の代わりに均整の取れた響きを指向する。それでいて音楽は力を失わず、より雄弁さを増して作品の核心を突く。作曲当時の時代精神をモダンオーケストラの音響をフル活用して再現するのが、ロトのマジックだ。

2020年に予定されていた再度の客演はコロナ禍で^{とんざ}頓挫したが、私たちは彼の指揮を――次はマラーで――待ち望んでいた。緻密で明晰なスコアの読みとスタイリッシュで引き締まったサウンドは、マラーの音楽に新たな光を当ててくれることを期待したい。

交響曲第4番は、マラーにしては比較的小ぶりの編成と古典的なたたずまい、声楽を伴うメルヘンチックな筋書きが特徴だ。これこそロトが得意中の得意とするジャンルではないだろうか。旬のソプラノ、種谷典子の歌唱を伴って、最終楽章の「天国」にどのように至るのか。裏面に込められた作曲家の皮肉をあぶり出すには一筋縄ではいかない手練手管が要る。もちろんそんなことは先刻承知の上で、ロトは童心に還って(還ったふりをして)「楽しく、苦い」物語を描いてくれるに違いない。

ロトの才人ぶりは、前半のフィリップ・マヌリの「サッカード」でも明らかになるだろう。この曲はロトとフルートの名手、エマニュエル・パユによって2018年に初演された。黄金コンビが奏でる現代音楽の粋を楽しんでいただきたい。

ソプラノ 種谷 典子

隔々までコントロールされた美声で魅了する歌姫。広島県出身。国立音楽大学及び同大学院修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修員としてミラノとルガーノにて研鑽を積む。東京音楽コンクール声楽部門第2位、日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)第2位など受賞多数。東京二期会、新国立劇場、日生劇場などで「椿姫」題名役、「魔笛」パバゲーナ、「フィガロの結婚」スザンナなどを歌い好評を博す。2025年11月には「夕鶴」ついでに読響と共演し、喝采を浴びた。二期会会員。



©STUDIO KUMU

読売日本交響楽団 第154回 横浜マチネーシリーズ

2026年11月29日<日>14時開演

横浜みなとみらいホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020

S ¥8,800/A ¥7,700/B ¥6,600/C ¥5,000

●東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分
●JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分

読売日本交響楽団 第663回 定期演奏会

2026年11月30日<月>19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800/A ¥7,700/B ¥6,600/C ¥5,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

【託児サービス】横浜みなとみらいホールには託児サービスがあります。株式会社 明日香 0120-165-115(平日10時-17時/公演3営業日前までに予約) 【学生券】学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。【読響ホームページ】<https://yomikyo.or.jp/>

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(11/29公演)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(11/30公演)